



## 全体評価と課題

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言に伴う休館や公演の中止・延期、客席数の制限等により、前年度までの評価結果とは異なり、施設の稼働及び収支に関わる評価項目や住民活動に関わる評価項目で評点が大きく下がる結果となっている。

まずマネジメント機能については、構成する5つの機能のうち評点4(やや高いレベル)以上が2つ、評点3(標準点)以上が2つで、残りの1つ「財務健全化機能」は、経営収支や自主事業の収支が前年度と比べて大きく落ち込んだ結果、評点2以上(やや低いレベル)となった。

一方、文化芸術振興機能については、構成する5つの機能のうち評点4(やや高いレベル)以上が4つで、残りの1機能も評点3(標準点)以上を前年度から維持している。休館等の影響を受けた観客動員率を除き、文化芸術公演率や鑑賞感動率等、当施設の鑑賞機能は依然として高い水準を維持したほか、鑑賞者満足度向上機能や関係者満足度機能への評価も前年度から落ち込むことはなかった。

地域交流・地域貢献機能については、前年度と同様に、文化芸術の底辺拡大機能は評点4.50ポイントと全評価項目中の最高評点を維持した一方、活動・交流の場の提供機能は、住民活用度の大幅な低下等により、前年度の評点4(やや高いレベル)以上から、評点3(標準点)以上に下がっている。

マネジメント機能の成果指標については、入場料収入及び貸館料収入等の大幅な減少に伴い、経営収支比率が前年度の59.05%から令和2年度は18.21%に低下している。

文化芸術振興機能の成果指標については、自主事業観客数、アウトリーチ活動聴衆者数、貸館による観客数のいずれも前年度から大きく減少した結果、文化芸術を鑑賞した住民の割合は、前年度の70.69%から令和2年度は11.67%に低下している。

地域交流・地域貢献機能の成果指標については、文化芸術活動に参加した住民の割合が前年度の8.40%から令和2年度は7.49%に低下している。

## 今後の運営方針、改善・改革の方向性

### 短期的課題:

- ・公益社団法人全国公立文化施設協会や市のガイドライン等に基づく感染症拡大防止の対策の徹底
- ・「エコルマホール危機管理マニュアル(2011年4月策定)」の適宜更新、警察やテナントビル等と連携し、不審者の侵入等を想定した訓練の実施
- ・ジャンルを問わない魅力的な公演の提供と利便性の高い予約システムの提供を通じた観客動員率の改善・向上
- ・FMラジオやSNSを活用したプロモーション活動のほか、動画等を活用した効果的なプロモーション活動の推進
- ・研修メニュー(コンプライアンス研修、ホスピタリティの高度化研修等)の着実な実施
- ・コロナ禍で進んだ動画配信(公演終了後の動画配信等)を積極的に活用し、鑑賞機会の多様化や企画機能の強化、鑑賞者満足度の維持・向上
- ・鑑賞者による公演満足度、公演関係者による施設対応への満足度の維持・向上
- ・鑑賞者や関係者からの設備や対応等に関する意見、要望、苦情等の継続的な把握、迅速な対応
- ・市民団体や新人・若手アーティストの文化芸術活動の積極的な支援

### 中長期的課題:

- ・当施設が目指すべき方向性『総合型の文化芸術振興施設』に沿った多ジャンル、多世代向けの鑑賞型事業の展開
- ・泊江在住又はゆかりの音楽家による、泊江らしい自主制作型事業の展開
- ・顧客データベースの活用等、施設のファンを増やす取組の展開
- ・「エコルマホール運営協議会」を通じた住民や関係団体の参画とともに、他館や他団体との連携や共催企画の展開等
- ・市の福祉施策等と連携した、文化芸術の面で共生社会の実現に寄与するための取組
- ・他市や他団体とのコラボレーションとともに、地元企業とのさらなるタイアップによる地域交流・地域貢献機能の強化
- ・当施設の体制に見合った目標管理制度の具体的な運用